

改善計画書

施設名 丹生川保育園

(担当者 林 はつ子 )

(作成年月日 令和5年3月14日作成)

(施設として特に働かなくてはならないこと)	1	4年目となる異年齢保育について、一人ひとりの発達に合わせた環境や援助体制を構成し、年長児としての力を発揮できるよう保育内容を工夫しながら保育を進める。						
	2	地域協力委員の協力を得ながら菜園活動を行い、収穫した野菜を調理し、給食の食材として使用することで食育につなげていく。また、地域の方に感謝する気持ちを大切に、地域を愛する心を育てていく。						
	3	十分なコミュニケーションを日頃から意識し、現場の職員と一緒に保育の振り返りを行い、課題を明確化することで職員のレベルアップにもつなげていく。						
	4							
	5							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
(施設として特に働かなくてはならないこと)	1	職員一人ひとりの業務量を把握する。	業務時間内にすべての業務が完了できるよう、一人当たりの業務量の整理を行い、負担を軽減する。	1年	令和5年4月	令和6年3月	各職員との面談を通じて、業務量を把握する。行事前の準備等は、事前に役割分担を行い、日頃から声をかけながら、進捗状況の確認をする等、余裕をもって進められるよう状況に応じて対応していく。	園長・主任
	2							
	3							
	4							
	5							
工夫を凝らすこと)	1	実習生やボランティアの受入れ体制を整備する。	実習生やボランティアを受入れる際のカリキュラムやマニュアルを整備する。	3年	令和5年4月	令和8年3月	実習生やボランティアを受入れる際の一律的かつ効果的なカリキュラムやマニュアルを検討し、文書化する。	主任
	2	子どもたちの環境保護意識を高める。	子どもたちが環境保護を意識して生活できるようにする。	1年	令和5年5月	令和6年4月	環境問題、ゴミの分別等、地域での環境に対する取組を理解し、子どもたちと一緒に学ぶ機会を保育に取り入れていく。	全職員
	3	異年齢保育の更なる充実に努める。	異年齢保育の更なる充実に向けた改善策を協議し、実行していく。	1年	令和5年4月	令和5年10月	令和4年度に実施した異年齢保育に関するアンケート結果をまとめ、課題点、改善点を把握し、更なる充実に向けた改善策を協議・実行していく。	全職員
	4							
	5							
(施設として特に働かなくてはならないこと)	1							
	2							
	3							
	4							
	5							